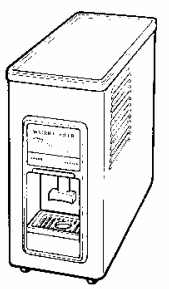
冷水器（ウォータークーラー）を正しくお使いですか！



いつでも、衛生的で安全な水を飲むために、ウォータークーラーを使用する際には、管理責任者を定め、次のことに注意してください。

１　取説は手元に

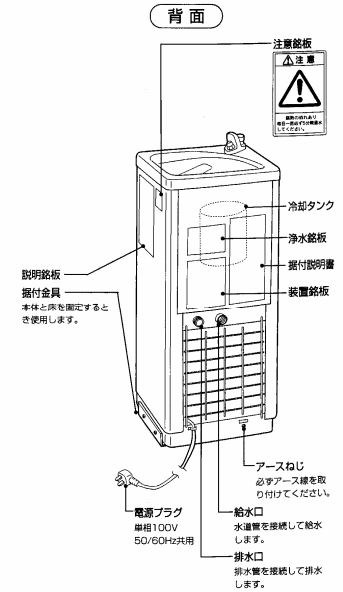
取扱説明書は常に確認できるよう手元に保管しましょう。

２　毎日１回通水を

自動洗浄装置付き以外は、毎日使用開始前に５分間（約10□）ほど飲み口から水を流し、冷却タンク内の水を入れ換えて下さい。

３　利用者への周知

たん・つば・吸いがら等を水受皿へ捨てると排水管がつまるだけでなく大変不衛生です。注意書き等を行い使用する人への利用方法を徹底しましょう。また、ノズルや水受皿などの水飲み口周囲は毎日お手入れして下さい。



４　毎月１回冷却タンクの洗浄を

冷却タンク内に水道水由来の鉄さびが溜まることもあります。状況によっては、冷却タンク内に溜まった鉄さびによってノズルから赤水が出てくる場合もあります。

【洗浄方法】

電源プラグをコンセントから抜いて、次の手順で行って下さい。

⑴ 水入口バルブを閉め、水道水の入りを止めます。
⑵ 水抜口バルブを開けて、タンク内の水を捨てます。
⑶ 水抜口バルブを閉めます。
⑷ 水入口バルブを開けタンク内に水を入れます。
⑸ タンク内の水がきれいになるまで⑴～⑷の手順を繰り返します。
⑹ 電源プラグをコンセントにつないで、給水を開始します。

（注）機種によっては、水抜口バルブが付いていませんので各メーカーと相談して下さい。

５　フィルターの交換を

浄水機能付きの場合は、定期的なフィルターの交換が必要です。取扱説明書に従って定期的にフィルターの交換を行ってください。

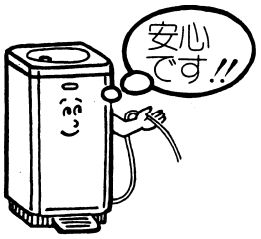
６　毎年1回水質検査を

日頃、水の色や味、においなどに注意し年１回は水質検査を受けましょう。

７　長期間使わないときはタンクの『水抜き』を

【水抜きの方法】

電源プラグをコンセントから抜いて、次の手順で行って下さい。



(1) 水入口バルブを閉め、水道水の入りを止めます。
(2) 水抜口バルブを開けます。
(3) 吸気栓を開け、冷却タンク内の水を捨てます。
５分程で排出されます。

① 「水抜き」が終わりましたら、内部を乾燥させ水入口バルブと水抜口バルブを閉めて下さい。
※ 完全に乾燥させないと配管等が錆びる場合があります。

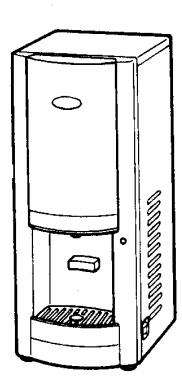
② ほこりよけの簡単なカバーをかぶせておくと安心です。

【運転を再開するときは】

冷却タンクを洗浄後、ペダルを踏んで下さい。飲み口からタンク内の空気が水と混って出水されます。正常な出水になるまで４～５分踏み続けて下さい。

８　毎年1回整備点検を

年１回は専門業者に整備点検をしてもらいましょう。



９　こんな場合は至急メーカーに連絡を

○異常な臭いがする場合
○水に色がついている場合
○その他異常が生じた場合

＊問い合わせ先＊
横浜市健康福祉局
生活衛生課居住衛生係
TEL 045-671-2456

水道直結型冷水器の維持管理チェックリスト

冷水器の管理状況をチェックしてみよう！

1	冷水器のタイプは？	床置型　・　卓上型
2－1	自動洗浄装置の有無	有　　・　　無
2－2	自動洗浄装置が無の場合、毎日使用開始前に５分ほど水を流し、冷却タンク内の水を入れ換えていますか。	
3－1	浄水機能の有無	有　　・　　無
3－2	浄水機能が有の場合、フィルターの交換を定期的に行っていますか。	
4	取扱説明書は常に確認できるよう手元に保管していますか。	
5	飲用にあたり注意点について注意書き等を行っていますか。	
6	冷却タンクの洗浄を月１回行っていますか。	
7	必要に応じて、一般細菌、大腸菌群の水質検査を行っていますか。	
8	長期間使わないとき（冬場等）はタンクの『水抜き』を行っていますか。 （年間使用の場合は／を記入してください）	
9	専門業者による整備・点検を年１回行っていますか。	
10	管理担当者（管理責任者）を決めていますか	

管理担当者	管理委託
氏　　名　： 所　　属　： 電話番号　：	管理状況　：　　自主　・　委託 委 託 先　： 委託内容　：

水道直結型冷水器の維持管理チェックリストの解説

（各チェック項目で×の項目は）

２－２　自動洗浄装置が無の場合、毎日使用開始前に５分ほど水を流し、冷却タンク内の水を入れ換えていますか。

冷水器タンク内の水は停滞しやすく、細菌が増殖しやすい構造です。毎日定期的に水を流すことにより停滞することを防ぎ、細菌等の増殖を抑えることが出来ます。

３－２　浄水機能が有の場合、フィルターの交換を定期的に行っていますか。

フィルターの交換を定期的に行わないと、浄化能力が低下するだけでなく、フィルター内で細菌やカビが増殖し、汚染された水を飲む可能性があります。取扱説明書等で決められた期間内に定期的に交換しましょう。

４　取扱説明書は常に確認できるよう手元に保管していますか。

維持管理を行うにあたり、冷水器の仕組みを把握しておきましょう。取扱説明書を常にわかるところに備えておき、緊急時に対応が出来るよう保管しましょう。

５　飲用にあたり注意点について注意書き等を行っていますか。

たん・つば・吸いがら等を水受皿へ捨てると排水管がつまるだけでなく大変不衛生です。これら行為を行わないために注意書きを貼って利用者に啓発しましょう。

６　冷却タンクの洗浄を月１回行っていますか。

冷却タンク内に水道水由来の鉄さびが溜まることがあります。溜まった鉄さびが飲み口から出てくる場合がありますので月１回程度は冷却タンクの清掃を行いましょう。

７　必要に応じて、一般細菌、大腸菌群の細菌検査を行っていますか。

２－２でも触れましたが、冷水タンクは水が停滞しやすく、細菌が増殖しやすい構造です。また、３－２でも触れたようにフィルターの交換を定期的に行わないと、細菌やカビが増殖し、汚染された水を飲む危険性があります。構造的に汚染されやすい冷水器ですので、定期的に細菌検査を行いましょう。

８　長期間使わないとき（冬場等）はタンクの『水抜き』を行っていますか。

水抜きをきちんと行わないと、配管がさび付き赤水の原因となったり、冷却タンク内の残水により細菌汚染等が起こります。長期に使用しない場合は、取扱説明書通りの水抜きを行いましょう。

９　専門業者による整備・点検を年１回行っていますか。

毎日衛生的な水を利用者に飲んでもらうためにも、日常点検および年１回の専門業者による整備点検等を行いましょう。

10　管理担当者（管理責任者）を決めていますか。

日常点検や異常があった場合に対応できる管理担当者（責任者）を決めて責任の所在を明確にしましょう。

維持管理方法等については各区福祉保健センター環境衛生係へお問い合わせください。